



風水害時における 市民等への情報提供

豊橋市防災危機管理課





【令和6年12月まで】

☑気象警報

大雨警報（浸水害、土砂災害） 6回

洪水警報 4回

☑災害対策本部設置 9回

大雨5回、台風2回、高潮1回、地震（臨時情報） 1回

特に柳生川は避難判断水位（警戒レベル3相当）が6回



愛知県内では**トップ**

※県内の他市町村では毎年1回あるかないか

令和5年 豊橋の風水害



時 期		被 害	
6 月	台風2号に係る大雨		
8 月	台風7号による大雨		

- ・ 本部員会議及び避難所開設を伴う立ち上げは、**5年ぶり**
- ・ 人的被害（死者）は、**40年ぶり**
- ・ 令和5年6月2日の総雨量は、**418mm（観測史上最大）**

令和5年 豊橋の風水害（霞提）



国土交通省 中部地方整備局（平成13年度 平常時撮影）



かみざわ
(金沢霞)

賀茂霞

下条霞



牛川霞



市民ニーズ（大規模風水害時）



- ☑隣接道路（国、県、市道）の冠水情報の入手方法がわからない
- ☑河川の越水状況、特に内水氾濫や越水箇所情報が早く欲しい
- ☑一目で理解できる情報サイトが欲しい
 - ・土砂崩れ、道路陥没等による通行止め情報（国、道、市道）
 - ・カメラ（道路、河川、海岸）で見ている映像 など
- ☑旅行者や仕事中のドライバー向けに自動配信システムがほしい
 - ・現在地の災害状況
 - ・被害のない地点や迂回路 など
 - （例：対象エリアに入るとスマホやカーナビに冠水情報などを提供）
- ☑市町の指定避難所への避難経路情報が欲しい

教訓と対応策



☑被害状況の把握と情報提供（浸水状況、通行止め）

⇒可能な限り被害情報の市民への提供

☑適切なタイミングでの気象・避難情報の提供
（メール、アプリ、防災ラジオ、Lアラート等）

⇒インターフェイスの改修、県への支援要請

☑道路の寸断による交通マヒ（交代職員、救急・救助）

⇒避難所要員の勤務体制見直し

☑ハザードマップの再確認（洪水だけでなく内水氾濫も）

⇒BCP、マイタイムライン（通勤・通学路のハザード）見直し

☑氾濫地域の被害

⇒名大、技科大との連携による調査、国、県と教訓事項の反映

☑国・県との連携強化

（気象早期情報収集、自衛隊への災派要請、救助法適用申請）

⇒夜間等被害状況不明の中、先を見越した協議

災害情報の連携サイクル



地域住民、近隣市町村、
県、国からの情報を集約

情報収集

災害情報システムと連携の促進
(※難しいと思うが要検討)

分析処理

- ・ AIによる情報の峻別
- ・ 正しい情報の把握
- ・ 隣接自治体情報の統合化

- ・ 全国放送等による周知
- ・ 支援の募集・斡旋
- ・ 国県の支援対応のアナウンス状況
- ・ 国・県管理の道路、河川等情報を市災対本部へ情報提供
(画像、写真データ)

報告
(県・国へ)

正しい災害情報を迅速に
被災する住民・旅行者などへ

状況の変化を迅速に処理し危険情報を速やかに
伝達できる音声・信号システム
(忙しくても、必ず気づくように)

情報提供
(市民等へ)

- ・ 迅速な情報を伝達可能な連携
- ・ 各市町とのシステム接続とシステム操作の簡素化
- ・ 各種システム入力ができる人材育成

- ・ 一目で理解できる情報提供の方法
- ・ メール、防災アプリ、FM放送等で自動配信されるシステム
(例：●●号線○○地区～
△△地区土砂崩れで通行止め)
- ・ 音声、多言語、デジタル文字等の手段で多様な市民に対応